



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第 39 号

2007.4.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつけています。

## も く じ

### おしらせ

- ー 冬季閉館について
- ー 雑誌「旬遊」への記事掲載について
- ー 第 14 回西中国山地自然史研究会総会について

### 活動報告

- ー 早春の苅尾山トレッキング

### 2007 年度アンケートの集計結果

### 観察会案内

- ー 山焼き後の雲月山観察会
- ー カスミサンショウウオの産卵調査

## お し ら せ

### ● 冬季閉館について

高原の自然館は 11 月 26 日より冬季閉館中です。次回開館は 2007 年 4 月 25 日です。冬季連絡先は北広島町芸北支所 2 階，自然史研究室（電話 0826-35-0115）となります。メールは今まで通りご利用いただけます。

### ● 雑誌「旬遊」への記事掲載について

広島発，もっと深く，食・遊・暮らしを愉しむ季刊誌「旬遊HIROSHIMA」第 16 号（発売中）から，高原の自然館発の記事が連載されています。広島県内の各書店やコンビニエンスストアポプラ各店で取り扱っているようですので，見かけたら手に取ってみてください。

【旬遊HIROSHIMA】<http://www.syun-yu.jp/>

### ● 第 14 回 西中国山地自然史研究会総会を開催します

開催日時：2005 年 4 月 22 日（日）15：00

集合場所：芸北文化ホール

西中国山地自然史研究会の活動を充実させるための会を開催します。観察会や調査，会費のことなどを決める大切な会です。ぜひご参加ください。雲月山の観察会終了後に行いますので，こちらと併せてどうぞ。なお，出席出来ない方は，委任状を送付ください。

## 観 察 会 報 告

### ●早春の苅尾山トレッキング

開催日時：2007年3月11日（日）9:30

今シーズンは暖冬だと言われ、気分はすっかり春なのに・・・3月半ばになっての積雪にびっくりしながらも、「スノートレッキング」にはぴったりのお天気となりました。「冬が戻ってきたね」「春なのか冬なのかわからないね」「やっぱり雪が積もっているのは嬉しいね」と降りしきる雪の中、13名の参加者が集合しました。

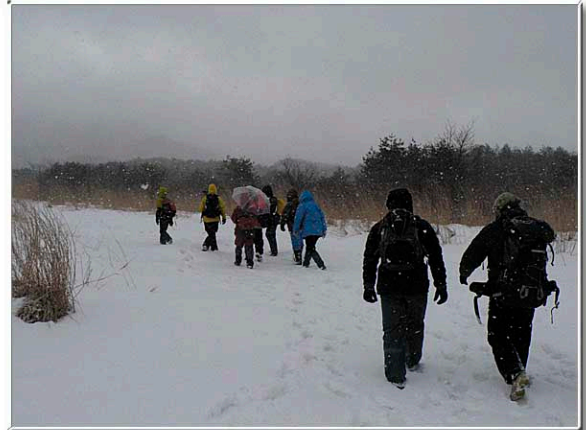
千町原の句碑のところに車を止め、登山道をゆっくりと歩き始めました。今回の案内役は上野先生です。降ったばかりの雪の上を歩くのは思いのほか楽しく、寒さを忘れて観察しました。草原ではノウサギによるノイバラの食痕や、枯れたイタドリを見ました。イタドリは、茶色っぽく乾燥していて夏の姿とずいぶん違うなあと感じました。進んでいくうちに降っていた雪がやみ、青空がのぞきました。ちょうどその時、苅尾山頂のブナ林の樹氷がみえて、感嘆の声があがりました。さらに空を舞う鳥の姿を発見しました。上野先生の「ハヤブサだ!!」という声にカメラを構える人、双眼鏡をのぞく人と、みなさん素早く反応され、姿が見えなくなるまで観察しました。上野先生は八幡ではハヤブサを初めて観測したそうです。

森林に入り、車道に出るまでに小さな川を渡りました。そこではヒガラの鳴き声を聞いたり、ヤマドリが食べたエゾユズリハの葉を見たり、クロモジの花芽を観察しました。八幡ではめずらしいヒサカキは常緑のため、雪の中で目立っていました。車道に出て、川沿いを歩くと次々と水生昆虫を見ることができました。セツケイカワゲラの仲間、トビムシ、ユスリカなどです。時間の都合のため、途中で引き返しましたが、帰り道にヤマガラ・コガラ・シジユウカラなどの混群に出会いたくさんの鳥の鳴き声を聞くことができました。中でもコガラの「ピューピュー」という鳴き声が長く、はっきりと聞くことができました。

山麓庵に戻り、いろいろの火にあたりながら今日観察したものを順番に発表しました。それからお昼ごはんを食べながら、恒例の俳句披露です。みなさんの俳句を聞いてみると、今回の観

察会で印象に残ったのは「ハヤブサ」と「樹氷」だったようです。観察したものを俳句にすることで、よりいっそう心に留まった気がしました。1月と2月の観察会には雪がなく、今回やっと待ちに待った雪上での観察会でした。スキーなどを履いて歩くことはできませんでしたが、降ったばかりのやわらかい雪の上を歩く感触が心地よかったです。

「長靴の 下から冷える 春の雪」[こ]



やわらかく湿り気の高い雪を踏みながら、登山道を歩いた。



雪原より、小さな川をわたり山の中へ。



ヤマドリが食べた跡のあるエゾユズリハ



みんながハヤブサを見上げる。



アカマツ林で、カラ類の混群に出会った。



川沿いにはさまざまな水生昆虫がいた。小さいので近くに寄ってじっくり観察。



観察会で見たものを順番に発表した。

### 【みなさんの印象に残った物】

「臥竜山の樹氷(3)」「すっかり春めいていたのに雪になってしまったこと」「イタドリ、ノイバラ」「オオウラジロノキ」「雪の原」「ハヤブサ(2)」「ウサギがノイバラの枝の先を食べた跡(トゲがあっても動物は平気で食べれるということ)」

### 【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「初めて冬の山登りに参加させていただきましたが、見るものが豊富で、楽しかったです。」  
「一人では気づかないことでも上野先生や他の人達と一緒にいれば気づいた。」  
「食痕がおもしろかった。」  
「もう春かと思っていたら、突然の雪でびっくりしました。」  
「苧尾の樹氷がキレイでした。」  
「雪の八幡を堪能しました。」  
「思わぬ雪でよかったです。」  
「3月中旬の雪の原がよかった。」  
「苧尾の霧氷が陽に映えて神々しかった。」  
「今年はもう雪景色が見れないと思っていましたが、よかったです。」

### 【スノートレッキング俳句集】

冬登山 囲むいろりの 温かさ  
雪原に 生命の姿 見え隠れ  
青空と 霧氷のかりお 冬戻る  
市内から 車で2時間 別世界  
青空に 走る雪ん子 春の声  
ハヤブサだ あれを撮らにやと 天の声  
ハヤブサと 苧尾の樹氷 輝いて  
三月に やっと出番だ スタッドレス  
雪の朝 はたと悩んだ ハタネズミ  
ひと休み 気配りのアメ おいしいな  
春雪や 雪原にはえる ハヤブサかな  
ノイバラに うさぎのおもかげ 春を待つ  
ハヤブサに 見えてしまった トビだった  
一瞬の 青空の下 見た樹氷  
陽に映えて 苧尾の霧氷 神々しき

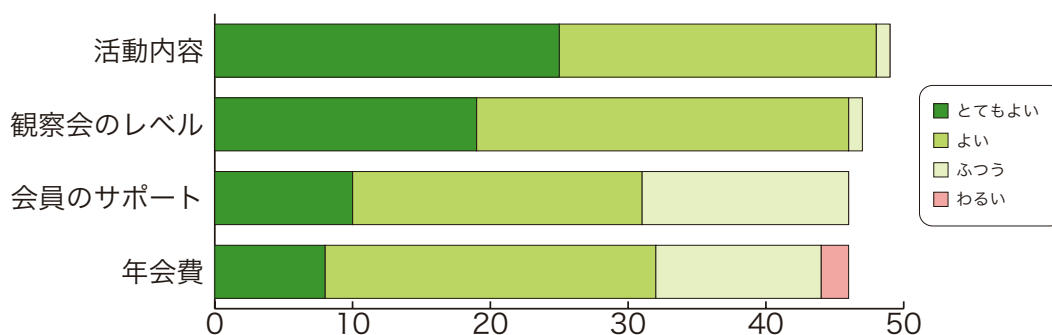
## 2007年度アンケートの集計結果

2007年2月1日時点の会員128人にアンケート用紙を配布しました。3月10日までに回答を頂いた50通について結果を集計しました。その後も数通の回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。

### 西中国山地自然史研究会について

「参加したいと思っはいますが、ウイークエンド・ファーマーのため、参加できません。勤務がなくなったら参加したいと考えています。」「昨年は長期入院をしてほとんど参加できませんでした。」「これからも継続して行ってください。」「本年度は体調不良で参加できませんでした。残念。運動機能が低い老人への配慮をお願いしたい。私は「要支援2」です。」「観察会により**定点での数年間の変化などがあれば、電波塔などで報告してはどうでしょうか。**」「今は行事に参加しておりませんので、特にありません。いつも「苅尾電波塔」を送っていただき、ありがとうございます。」「**集合時間をもう少し遅く**して欲しい。30分から60分くらい。旧広島市内に住んでいるため。」「**名前が長いので、愛称とか略称があれば**いいと思います。」「月々、多くのイベントがあり、十分な活動が行われており、スタッフの方々は大変なことと思いますが、これからも期待しております。」「**八幡地区のみでなく、旧芸北町内の調査活動**は難しいでしょうか。」「せっかく良いプログラムを沢山企画していただいているにもかかわらず、業務やその他の用務で参加率が悪く申し訳ありません。都合のつくかぎり参加させてもらいますので、今後是非継続してください。」「昨年は多

忙のため各種行事にあまり参加できませんでした。事務局からの事前のご案内や事後のご報告等でフォローいただきありがとうございます。今後も地道にこの会を継続していただけることを願っています。」「参加回数の多い者としては、**年会費はもっと高くても良い！！**と思えるほど、いろいろなものを得ています。」「会の運営に経費もかかることと思いますので、会費やイベントなどの参加費を値上げしていただいても良いです。」「(1) **法人化**を目指しましょう。(2) **研究会、地元の人、かきつばたの里 etc. を含めた八幡ファンクラブ**の結成。以上、2本立てで。」「今の活動内容、そして自然館の展示のないようを継続して下さい。長い年月続けることにより、理解者と「知る」人が1人でも増えることでしょうか。町民が地域の財産と思ひ、八幡の現状を守っていくといいですね!」「せめて年会費3000円くらいは必要ではないですか?そして当日の会費が会員100円では無理ではないでしょうか?200円~300円。**会員は年々増えているのですか?**高原の自然館が発展していくためには、たくさんの人に知ってもらって興味を持つ人を増やし、度々来館する人数を増やすことが大切な・・・」



### 観察会・イベントについて

#### 今後、企画して欲しいイベント

「自然観察の技能としての**写真撮影**。」「**爬虫類**の観察会が無い。ヘビ・カエル他の観察会。樹木の観察会。」「**カントリーサイドウォーキング**」「**地質とか岩石・シダやコケ**。」「**巣箱づくり以外の子ども向けイベント**。」「今は旧芸北町中心のイベントが主体ですが、今後はスタッフの方々は大変とは思いますが、**北広島町全域**

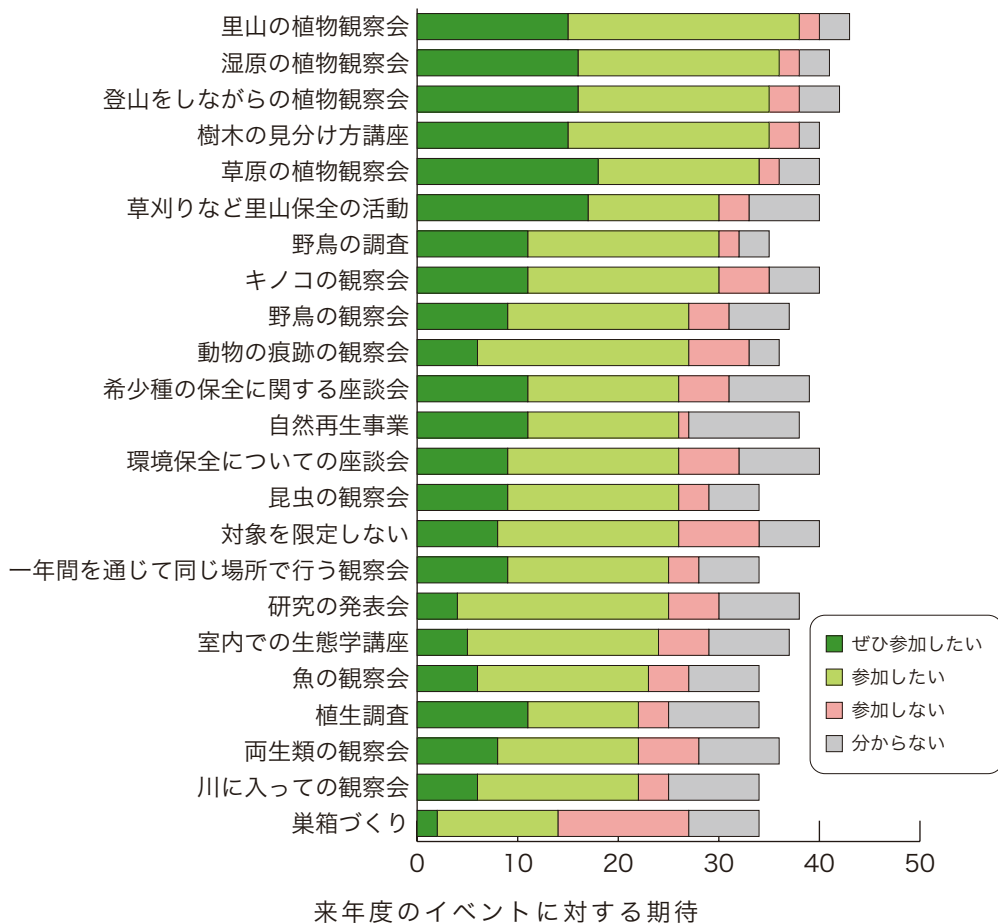
**に少しずつでも拡げて**行ってください。」「カワシユンジュガイの他に、2枚貝、巻き貝など、淡水に生息する貝について知りたいです。**淡水魚全般**にも関心があります。土日の宿泊観察会(テントでも可)。会員個人の芸北での新発見とか、まれにしか見られないものを見たとかの**情報交換(歓)会**を催しては?」「現在のプログラムで十分です。」「樹木中心の観察会」「千町原で天体観測。

夜の声を聞く会。」「一昨年のオオサンショウウオの観察会に行けなかったので企画して頂きたいです。」「平日は行事も少なく、時間が空いています。何か企画してほしいものです。」「保全活動を増やして欲しい。楽しみ、勉強しながら汗を流して、皆さんと交流をはかりたい。農作業、森林作業、地元の方との協同作業。」「天体観測。今となつては貴重な暗い夜空があるのだから。」

観察会・イベント全般について

「なかなか参加できないので書かれませんか。」「自然を考え、愛するイベントを行ってください。」「山の植生に関して、食生活への活用・採取・料理講習会など。」「アニマルトラッキング、専門の人々をリーダーとする。」「参加できる日があまりないのですが、機会があれば参加したいイベント、観察会が多いので、できるだけ参加したいと思っています。」「いずれのイベントも興味があり、参加したい気持はあるのですが、時間的にやりくりがつかないため断念しています。」「観察会が終わった後、30分くらい総まとめの話をして欲しい。」「ポスターや配り物を工夫する、参加しやすい雰囲気作りなど、地元が参加しやすい呼びかけ。」「体調をくずしているので、なかなか出られません。」「阿佐山の植物観察会のように、カエデの葉を採って持ち帰れるような観察会などは、今後も開催してもらいたい。」「全イベントに参加

したいのですが、自分の関係する広島虫の会の活動と、ガの調査があるので、あまり手を上げたくないので参加を控えさせてもらっています。」「植生調査や草刈りなどのイベントは、自分自身の1年間の予定の中に組み込まれているような気がします。顔なじみの人達と共に作業し、それを共有できることは財産だと思います。観察会と、イベントと、両方あるところが良いと思います。」「観察会の結果報告は、参加者が、順番に報告するのが企画者の負担を少なくして、良いと思います。」「色々工夫されていて、勉強になります。」「PR不足？ 苅尾電波塔でもっと見やすい位置での案内を望みます。」「なかなか参加できませんが、参加した時は親子ともども楽しませて頂いております。」「参加したいのですが、土・日に集中し、やむなく欠席となることが多いので残念です。」「若い人、中・高校生の参加があれば楽しいのでは。地元の生徒であればよりベター。費用は年会費無料にしてあげても良いのでは。」「マスコミ・県広報などに告知して、観察会への子ども参加の方法も。」「飛び込みでも参加させてもらえるのはありがたい。」「仕事の関係上、土・日曜は参加できないのが残念です。」「積雪期の交通アクセスは大丈夫ですか？」「自然観察の時、ときどき参加者の中から講師をお願いしたり、又、数グループ作って観察するのはどうでしょうか。」

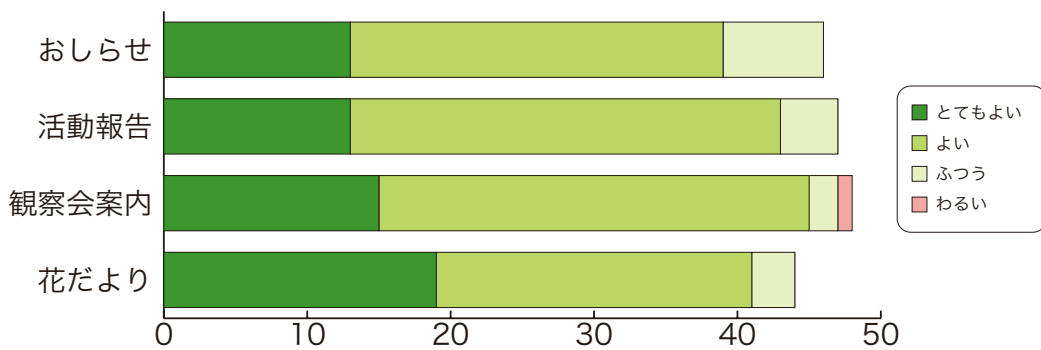


## 苅尾電波塔について

### 苅尾電波塔について

「いつも有難うございます。」**「写真があまり鮮明でない**ので、何か分からないものがある。」**「いちばん楽しみ**なのは編集後記。”電波塔”という名前がいいと思うんだけど、観察会の報告・案内以外の**ニュースなこと**も発信できればもっといいな、と感じました。」**「旧芸北町**で活動している**諸団体の活動状況**も自然館に行ったら分かるようにしてもらえたら！」**「花だよりのように季節の観察記事**を充実させて、会員が北広島町方面に出かけていきたい気持ちにして欲しい物です。」**「毎月でなくとも良い**と思う。」**「今後つぶさに見せていただきます。」****「写真も良い。」****「楽しく読ませていただいています。」****「PDF**

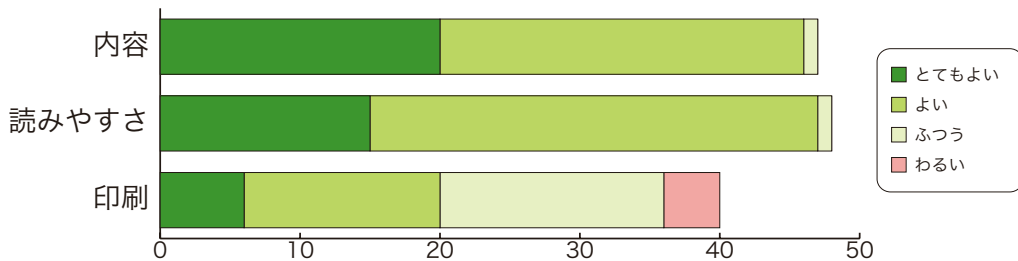
ファイルをメールで送ってほしい。」**「スタッフ皆さんの話がとても楽しい！」****「今後のスケジュールを分かりやすく。」****「PDFのものは大変美しくとても良い**と思います。今、外来の動植物や、地球温暖化などが話題になっています。あまり専門的にならず、分かりやすいキーワードなどで、**専門的な事も少しはあった方が良い**と思います。」**「今はメールで送って頂いているので特にありません。」****「1pくらいの小学生向けの簡易版を地元**に配布。」**「メールマガジンが来て、HP版を見ようとしてもupされていないことがある。**前の号を呼び出して、URLの号数を変えると見られる。」**「別になし。参加者やスタッフの意見などもある。」**



### 今後、読みたい記事

**「地域の資源をどのように保全し、どのようにこれを活用するか、みなさんの意見**を記事にしてください。」**「エッセイや短詩形作文作品も。」****「会員の寄稿や面白知識など。」****「例えば、アニマルトラッキングなら上野先生からの一言が載っていればいい。講師の方ならではの感想**も聞いてみたい。」**「自然に関するエッセイなどを公募して載せてみてはいかがでしょうか。」****「観察**

会の案内だけを見たい時、トップページですぐに呼び出せるボタンがあれば助かります。」**「ここ2～3年の西中国山地のツキノワグマの生息実態を知りたい。」****「八幡地区(旧芸北町)の土質、歴史、湿地の生い立ちなど。」****「郷土史**の記事も掲載してもらえば。」**「美しい写真が付いた記事」****「樹木についての記事を希望します。」****「植物のこと、鳥の話など。」**



苅尾電波塔は、前回の38号から印刷方法を変更し、レーザープリンタにしましたので、写真が鮮明に印刷されるようになったと思います。また、今月からはレイアウトを若干変更しています。今後より読みやすい紙面を目指して努力しますので、よろしくお願いします。

## 質問・意見・スタッフへのメッセージなど

「ボランティアでよくやってくださると思っています。ありがとうございます。」「継続するイベントにしてください。」**「モニタリング 1000 毎木調査準コアサイトとなりました。」**5年に1回の調査ですが、宣伝およびご協力をお願いします。今年、春に測量（プロット張り）、秋に毎木調査に行く予定です。「大規模の行事の千町原の草刈りは大勢の人手が要るので、NHK・民放を通じて人を集める。特に人手の要る作業。雲月山は危険なので除く。」「今は務めておりますので行事には参加しておりません。あと2〜3年すれば参加するつもりです。山焼きのお手伝いだけは友人をつれて参加致します。」「スタッフの皆様お疲れ様です。お世話になります。里山への思いは熱くありますが、色々なところに首を突っ込んでいるので、なかなかスケジュールが合わず、観察会に出席できません。結果、2-1のようなことになりました。」「スタッフの方々にはいつも大変お世話になっております。出来るだけ多く参加させていただきたいと思っております。よろしくおねがい致します。今後の自然観察会で、地質とか岩石など、又、シダやコケなども組み入れてみてはいかがでしょうか。」「毎月ごくろう様です。続けていきましょう！！」「ありがとう、アリガトウ、有り難う、かんしゃ、カンシャ感謝、シェーシェー？観察会、大イベントと、大活躍には小さい頭が大きく下がります。ありがとうございます。」「スタッフの方々は大変と思いますが、会員のために、よりよいイベントになるように、ご活動下さい。期待しております。」「私は植物など自然が大好きで、すべてのイベントに参加したいのですが、遠方でもあり、なかなかそうもいきません。しかし、できるだけ参加し、芸北の自然に触れたいと思っています。芸北に行くのは、本当に楽しみで

す。」「担当者は大変なご苦労をされていると思います。苅尾電波塔は、いつも楽しく拝読させてもらっております。ありがとうございます。」**「継続は力なり」と申します。**今後長くお付き合い出来ますようにガンバッテ下さい。「いつも、いろいろな企画を考えてくださり、ありがとうございます。今年は一度も参加できませんでした。来年度は頑張って参加したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。」「イベントにできるだけ参加したいと思っておりますので連絡下さい。」**「雪霊水の水質が悪化していると聞きました。」**チッソ分が増えている、大腸菌が増す可能性がある。水源の山の整備が必要なのではないでしょうか？「アンケートもWEBで実施すれば切手代が節約できるかと・・・」「入念な企画にいつも感心しています。頑張っして下さい。」「楽しく参加させていただいたこともあります。生活の内容・リズムが変わって、2006年度の行事への参加はゼロでした。残念ですが、2007年度も見通しが立ちません。」「いつも楽しく参加させてもらっています。人手が必要なときがありましたら、いつでも声をかけてください。」「野鳥の会での講演ありがとうございました。希少植物のお話はとてもわかりやすく、鳥だけを追う人々にも、植物の大切さが分かったと思います。」「交流の場、時間を作って欲しい。草地シンポジウムのあとの討論会のようなミーティングの場があれば良いのでは。観察会だけでは詳しい質問などができない時がある。終盤に反省会、交流会の時間を。」「これは自然史研究会の問題では無いのですが、自然館が閉まっている冬季に八幡に行くと、トイレに困ります。」「自然館のHP、とてもたのしみにして定期的に見ています。色々な活動と展示、大変ですが、がんばってください。

## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳  
**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ●山焼き後の雲月山観察会

開催日時：2007年4月22日(日)9:30  
集合場所：雲月山駐車場  
講師：和田秀次、佐久間智子  
準備：基本セット、弁当  
定員数：30名  
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

山焼きから1週間後の雲月山を歩きます。異例とも言える暖冬は、草原の生き物や山焼きにどのような影響を与えたのでしょうか？さらに、今年は例年よりも山焼きが1週間遅くに行われます。その影響はどのように現れるのでしょうか？春一番の観察会は、今年も雲月から始まります。なお、山焼きが中止になった場合にも、観察会は実行します。

### ●カスミサンショウウオの産卵調査

開催日時：2007年4月28日(土)9:30  
集合場所：高原の自然館  
講師：内藤順一  
準備：作業セット、弁当  
定員数：30名  
参加費：無料

春先、八幡湿原にはカスミサンショウウオが産卵のために集まってきました。この調査では、生み付けられた卵囊の数や産卵場所を記録して、カスミサンショウウオの目から湿原の状態を見てみます。産卵を終えた雄は卵を守っているので、ひょっとしたら親にも会えるかもしれません。この調査は2003年から続けているも

ので、集められたデータは八幡湿原自然再生事業の基礎資料として使われています。子どもでもできる調査なので、ぜひご参加ください。

調査の後に、実験地の水路整備をします。手伝ってくださる方は、スコップやクワなどを持ってきてください。

### ●今後の観察会予定

- 5月 3日 大潰山の春植物観察会
- 6日 サクラソウのお花見会
- 13日 ブナ林のバードウォッチング
- 6月 3日 曇山の植物観察会
- 10日 龍頭山の野鳥観察会
- 23日 霧ヶ谷湿原の植物と昆虫観察会
- 24日 霧ヶ谷湿原実験地の植生調査
- 7月 8日 八幡湿原の植物と昆虫観察会
- 29日 千町原草原の保全活動
- 8月 4日 千代田のオオサンショウウオと水辺の生き物観察会
- 5日 世界最南限のカワシンジュガイ観察会
- 11日 龍頭山の昆虫観察会
- 9月 8日 雲月山の植物観察会
- 17日 霧ヶ谷湿原の植生調査
- 10月 20日 キノコの観察会
- 21日 寒曳山の植物観察会
- 11月 11日 紅葉の山でゴギの産卵観察会
- 23日 千町原草原の保全活動
- 12月 2日 八幡高原の冬鳥&越冬する樹木の姿
- 9日 冬の工作「小鳥を呼ぼう、かんじきで歩こう」
- 1月 20日 アニマルトラッキング
- 2月 17日 スノートレッキング
- 3月 9日 スノートレッキング

この冬は雪が本当に少なかったのですが、ちゃんと春はやってきました。オウレンは咲きそろい、草花の新芽が出ています。入園・入学、就職、転勤、あるいは自由時間のはじまりと、みなさんの中にも生活が変わる方があることでしょう。高原の自然館は、昨年通り、25日から開館します。また、八幡でお会いできるのを、スタッフ一同楽しみにしています。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

#### 高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1  
tel. & fax : 0826-36-2008  
<http://shizenkan.info/>  
staff@shizenkan.info